



チーム身延

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校をつくる」

身延町立身延小学校
Tel 0556-62-0066
Fax 0556-62-0368

文責 校長 穂坂洋紀

レベルの高い普通をめざそう!



6月23日（金）に、今年度初めての全校集会を開きました。身延小学校ではコロナ禍の中、全校集会をしばらく実施しておらず、開かれるのは本当に久しぶりのことでした。今回は、全校児童を前にして以下のような話をさせていただきました。話している時間が少し長くなってしまいましたが、子どもたちは真剣に耳を傾けて聴いてくれました。[内容は一部要約です]



新年度、新学期が始まってから2ヶ月半が過ぎました。これまで、楽しい学校生活は送れていますか。ここで少し振り返りをして、前に進みたいと考えています。新任式の日、私がみなさんに言ったことをおぼえていますか。「私は、この身延小学校が素晴らしい学校であることを知っている。そして、みなさんが、いろいろなことに対して、とても優れた力を持っていることを知っている。」と言いました。それは、今でもその通りだと思っています。

では、みなさんにお聞きします。

みなさんは、みんなそれぞれが持っているその優れた力を発揮していますか。自分で考えてどうでしょう。まだまだ発揮できると思う人はいませんか。力の出し惜しみをしていたなあと思った人はいませんか。もちろん中には、十分に発揮している人もいます。でも、もう少し発揮できる人もいるかもしれない私は思っています。

ここでみなさんに1枚の写真を見せます（右掲載写真）。これは、前校長の片田先生が、校長室に貼ってくださった写真です。おそらく、今の中学2年生が6年生だったときの写真です。前校長先生は、きっと、この下駄箱の姿が素晴らしいと思っていたのだと思います。私もそう思って、今日まで引き続き、校長室に貼っていました。



今の、みなさんの下駄箱はどうですか。「この写真に負けないくらい靴が揃っている」といえる学年もあれば、「もうちょっとそろえることができるかも」と思っている学年があるかもしれません。

「くつをそろえる」ということを含め、この学校には、「なりたい自分になるための10カ条」があることをみなさん知っていますね。

- 第1条 あいさつをしっかりとる
- 第2条 そうじをしっかりとる
- 第3条 時間を守る
- 第4条 くつをそろえる
- 第5条 話をしっかりと聞く
- 第6条 「はい」と返事をする
- 第7条 「ありがとう」を言う
- 第8条 みんなで協力する
- 第9条 うそをつかない
- 第10条 忘れ物をしない



です。毎日、1つ1つ意識して生活できていますか。はっきり言って、難しいかもしれませんね。その中で、いくつか重点的に取り組むのも一つの方法ですが、どの項目も少しずつできるようになる方法を紹介します。

それは、みなさんの「普通のレベルを上げる」ことです。すなわち「あなたの今の普通をもっとよくする」ことです。

人は、日々慣れていることを“普通”と呼びますが、その“普通”とは、実は人それぞれの感じ方で違います。

例えば、下駄箱の靴の置き方やトイレのスリッパの脱ぎ方も、普段、ばらばらに置く人にとっては、それが普通。きちんとそろえる人は、それが普通です。

6年生も1年生も、5年生も2年生も、4年生も3年生も、みんなで自分の普通のレベルを上げることです。

そうすることによって、1人1人、個人のレベルアップはもちろん、自然と集団のレベルが上がっていきます。身延小のレベルが上がっていくのです。

“もっと素晴らしい身延小をつくるために、みんなで、普通のレベルをちょっとずつでも、上げていきませんか。”

1年生や2年生を含めて、この話が難しいと思う人は、6年生5年生、上級生の真似をしてください。

“みんなは、まだまだ力を発揮できます。みんなが力を出さないともったいないと思います。”

“みんなは、もっともっと素晴らしくなれると、私は信じています。”

“これから、みんなでレベルの高い普通をめざしていきましょう。”

かつて、自身もプロ野球の名選手で、ヤクルト、阪神、楽天で監督を務められた、故野村克也さんが、「選手の中で伸びる人はどのような人か」と質問された時に、『「素直」で「誠実」で「謙虚」な人』と答えていました。本校の子どもたちは、まさに、この言葉が当てはまる子たちばかりです。

身延小学校の“普通”は、まだまだこれからもレベルが高くなっていくことでしょう。期待は大きく膨らみます。

